

学校名 菖蒲町立小林小学校
所在地 菖蒲町小林2197
電話 0480-85-1306

1 本校の概要

本校は明治6年に創立されて以来135年、歴史と伝統のある学校である。児童数は150名、各学年単学級の小規模校である。

児童は学校前に広がる田で、春には田植え、秋には稲刈りを体験し、自分等も地域の方々とかレーライスを味わう。まさに緑豊かな自然の中で、豊かに育っていると言える。

更に、地域には「得^{とく}齊^{さい}さま...大怪我をした野^や通^ど川^{がわ}の大蛇の化身の美女を助け、後々栄えた医者...校内に掲示」(「埼玉の伝説」-日本標準)の説話が伝えられ、児童は民話にも深く興味を示している。また、町のボランティアの方々によるお話会もあり、読書への意欲が高まってきている。

2 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

本校では、5、6年の図書委員の児童を中心に図書の貸出を行っている。図書館の利用は、読書タイムの朝(毎週月・木)、業間休み、昼休み、放課後、授業等としている。1、2年生は学級文庫を活用し、閲覧、貸出をしている。

朝読書の取組

毎週月・木曜日の業前の時間は、全校児童一斉の読書の時間である。15分という短い時間だが、子どもも担任も一緒に本を読む。低学年では、時として担任の読み聞かせも行っている。

読書集会

11月の読書集会では縦割り班活動(全校を4グループの異年齢集団に分けて活動)の6年生による読み聞かせの集会を実践している。6年生による本や紙芝居の読み聞かせを、聴く側の児童は、最後まで夢中で聴いている。

【読書集会の様子】 【図書委員のお勧め本紹介】



全校読書マラソン(1000ページマラソン)

4月から図書委員会の呼びかけで1000ページマラソンがスタートした。読書マラソンカードには10ページ毎に色塗りできるカードを用意した。学期に一度、個人や学級に読書賞を発行して励ましている。

お話会

11月15日には、町のボランティア「お話かご」の方々によるお話会が催された。児童は、お話会を楽しみにしてる。部屋を暗くして、ローソクに火をともした中での巧みな語り口に、子どもたちは、身を乗り出して聴く。話の途中での指遊びも夢中で取り組んでいる。

【町のボランティア】 【熱心に話を聴く1年生】



しおり作り集会

今年度に購入した本のカバーの中から1冊選び、表紙の絵を切り抜き、ラミネートをかけリボンをつける。作ったしおりは読書タイムの時等に大事に活用されている。図書委員によりイラスト等も準備されている。

【しおり作りの様子】



3 成果と今後の課題

本校では、児童に読書の楽しさを味わわせ、児童一人一人がより多くの本に親しみ、読解力・表現力・言語能力を高め、より豊かな心を育むことができるよう、日々取り組んでいる。

子ども達はややもすると、安易にテレビやゲームにばかり偏りがちである。彼らが「本」の魅力のとりこになり、生涯を通じて読書できる人、感動できる人になって欲しいと願いつつ、読書活動に充実に努めている。